

令和3年7月29日

鳥取県知事定例記者会見

デルタ株感染嚴重警戒情報

全国各地で過去最高の感染者を記録するなど、感染力の強いデルタ株の感染が全国で急拡大し、本県においても県内全域に拡大しています。感染予防のレベルアップをお願いします。

嚴重警戒区域

全県（7/29～）

- マスクの着用をお願いします。
- 不要不急の外出を控え、業務・懇親・会食をはじめ、人と人との接触機会をできるだけ減らしてください。
- 帰省を含め県外との往来は控えましょう。また、県外の人との会食も控えましょう。
- 多くの人が集まるイベント、狭い空間での大騒ぎはこの夏は控えてください。

感染急拡大に備えた「鳥取方式+α」の全県展開

メディカルチェックセンターを東部・中部にも設置

保健所

「早期入院」調整

※感染急増による入院待機者

在宅等支援センター

受診調整

受診結果

症状に応じて
入院・療養先を決定

入院
宿泊療養
在宅療養

メディカルチェックセンター<各圏域に設置>

診察、血液検査、胸部画像検査などにより症状を診断

【西部】鳥取大学医学部附属病院

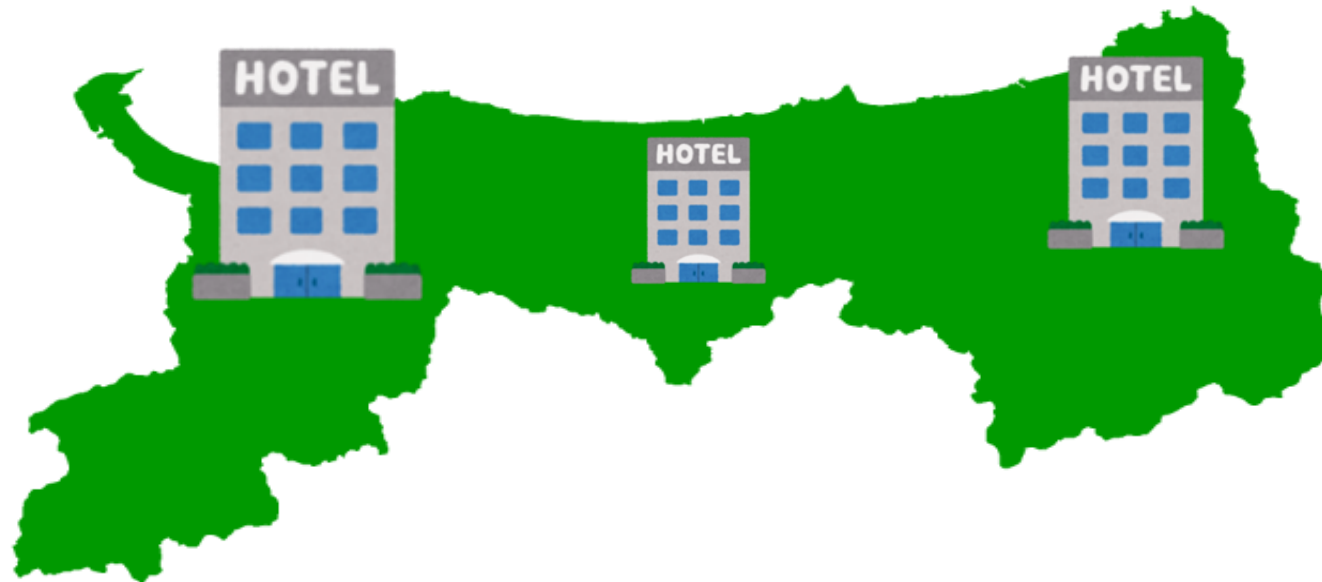
【中部】県立厚生病院

【東部】県立中央病院 等

宿泊療養施設の拡充

宿泊療養施設の収容能力を倍増(8月1日～)

現状	8月1日～	備考
141室	271室	東部 66室 中部 35室 西部 40室⇒170室



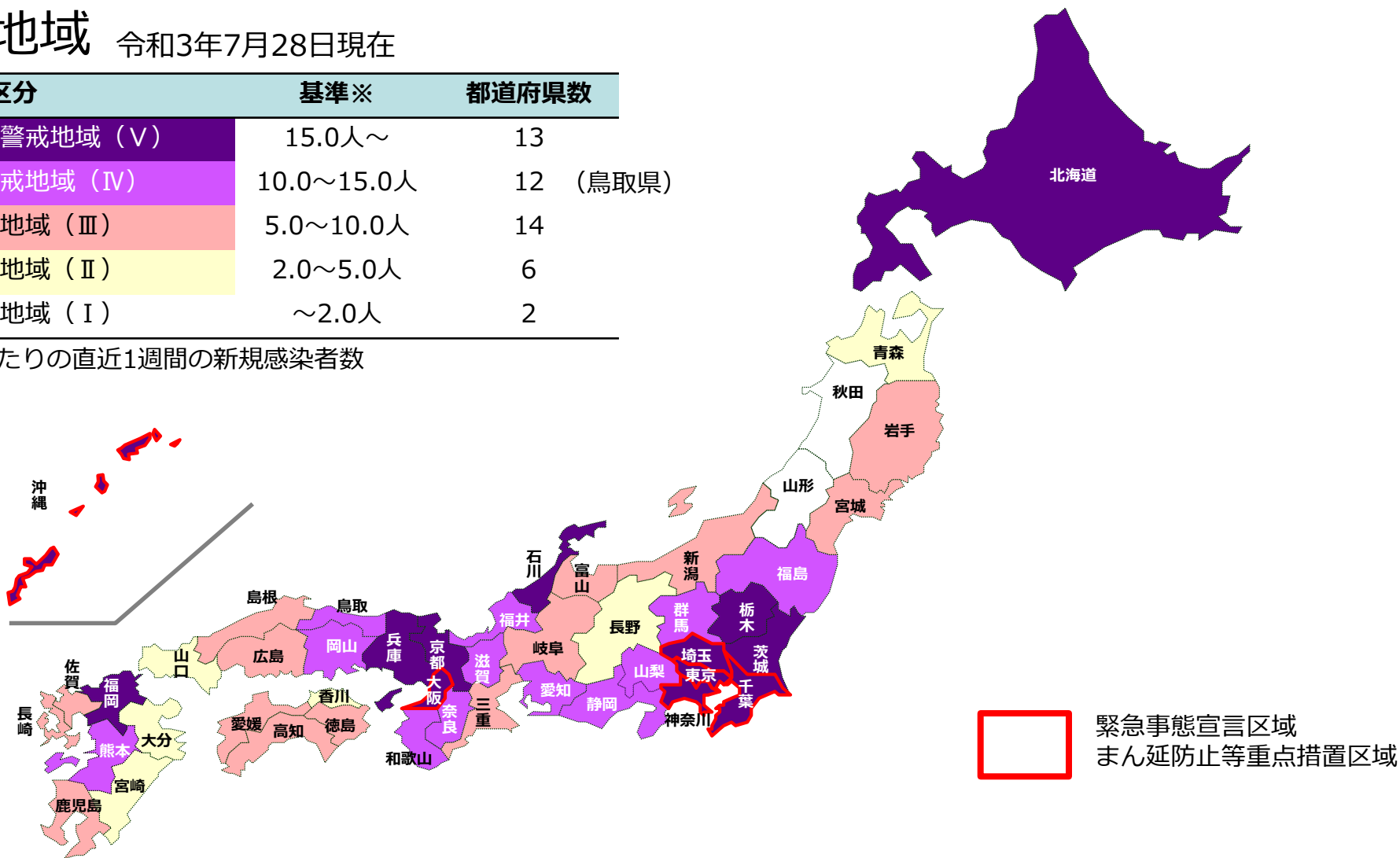
全国で感染が急拡大しています

県外との不要不急の往来は当面控えましょう

感染警戒地域 令和3年7月28日現在

区分	基準※	都道府県数
感染流行嚴重警戒地域 (V)	15.0人～	13
感染流行警戒地域 (IV)	10.0～15.0人	12 (鳥取県)
感染注意地域 (III)	5.0～10.0人	14
感染留意地域 (II)	2.0～5.0人	6
感染散発地域 (I)	～2.0人	2

※人口10万人当たりの直近1週間の新規感染者数



鳥取県への帰省をご検討の皆様へ

- この夏は、鳥取県への帰省はお控えください。
- 大切な方には電話等により心を届けましょう。



《県産品でコロナ禍の学生を応援！「#よきよき鳥取」仕送り便事業》

新型コロナウイルスの感染拡大等の影響により、帰省を制限・断念せざるを得ない学生に対し、本県ゆかりの品を送る事業を昨年に引き続き実施します。

⇒ **気持ちだけ帰省いただき、ふるさとの良さを再認識してください**

- **県出身の県外大学生等**や**県内の大学生等**に鳥取県ゆかりの品を送付。
- 申込みは、県内の就活情報等を配信する**ふるさと鳥取アプリ**“**とりふる**”から。



県立集客施設における感染拡大防止対策

県立集客施設における施設利用キャンセル料は免除

《新型コロナウイルス感染症対応指定管理施設支援事業》

県立集客施設で開催されるイベント等において、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、イベント主催者がキャンセルを申し出た場合はキャンセル料を徴収しないこととし、県が負担します。

- 実施期間 令和3年7月19日(月)～8月末
(特別警報発令日以降を原則とするが、今般の流行拡大に起因するものについては柔軟に対応)
- 対象地域 県全域

※鳥取空港着陸料及び旅客不定期航路事業者(遊覧船)の占用料の減免措置を実施中

ファイザー社ワクチンの第12クールのご供給状況について

第12クール(8/16～の週及び8/23からの週)の県内へのファイザー社ワクチンの配分量が示された。
→国の基本計画枠40箱に対して**47箱**が配分

国の基本配分計画①	調整枠配分②	配分数計 ①+②
40箱	7箱	47箱

<配分の考え方>

① 希望分 32箱 → 希望市町村に配分

② 中部共同接種体制協力分 **4箱** → 琴浦町・北栄町から倉吉市へ

③ 調整分 7箱 + 国の基本配分計画数のうち市町村の協力で提供分 4箱 = **11箱** → 鳥取市・米子市・境港市の供給実績と職域接種における接種数を勘案した数で按分して配分

市町村協力分と併せた県調整分 **15箱**

	鳥取市	米子市	倉吉市	境港市
調整分	5箱	5箱	4箱	1箱
調整後	16箱	13箱	7箱	4箱

- 当面、**現在の接種ペースを維持できる量**のワクチンを確保
- 今後、**職域接種と協調して最適なワクチン接種体制**を構築

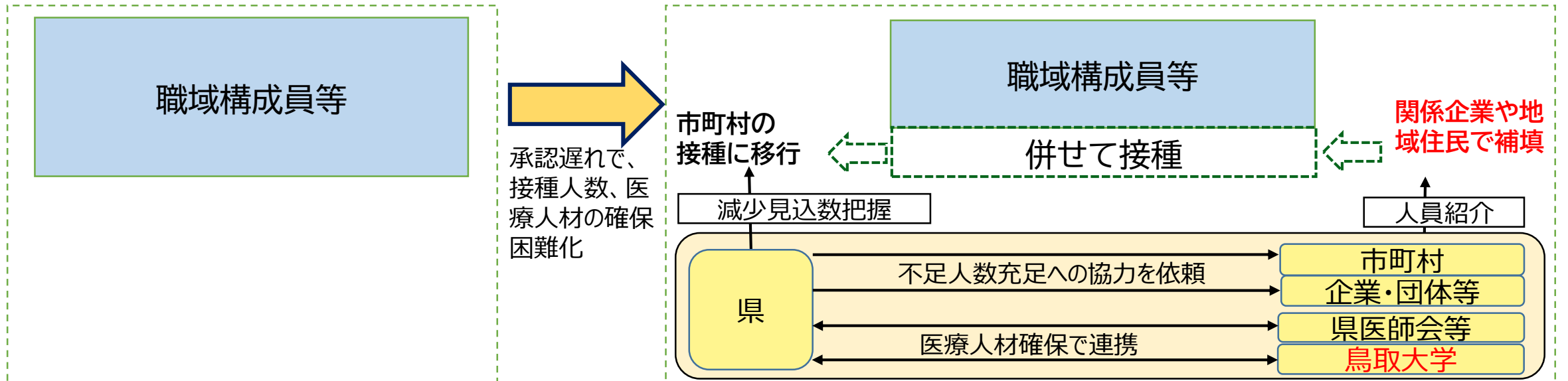
職域接種の状況

○会場の承認状況

既承認済	14会場	28,900人	順調に接種実施 ・13会場で開始済 ・延接種済数19,866人(進捗率34.4% 7/25現在)
新規承認	2会場	3,200人	航空自衛隊美保基地、米子高等工業専門学校 (7/20承認)
未承認	22会場	46,100人	8月中の開始に向け、国から順次確認が行われている

○市町村、医師会、鳥大等と連携し、職域接種を総合的に推進

【鳥取型職域接種推進プロジェクト】



- (取組例)・鳥取中部観光推進機構に北栄町小中学校の教員等250名程度を紹介
・空きが発生した会場に鳥取商工会議所の予約ができなかった企業等を紹介

盛土等の危険性を調査する緊急点検開始

■ 熱海市の土石流災害を踏まえた盛土の点検

(緊急点検の対象)

- ・土石流に係る土砂災害警戒区域の上流域の溪流（谷部）に盛土した箇所。

(点検箇所)

- ・223箇所：道路30箇所、農道・林道172箇所、残土処分場4箇所、民間開発11箇所等

(主な点検項目)

- ・計画高以上の盛土の有無
- ・排水施設の不備の有無
- ・盛土法面の亀裂や段差、湧水等の有無

■ 7月豪雨災害を踏まえた急傾斜地の点検

(緊急点検の対象)

- ・民家等の保全対象がある裏山の斜面の勾配が急な箇所。

(点検箇所)

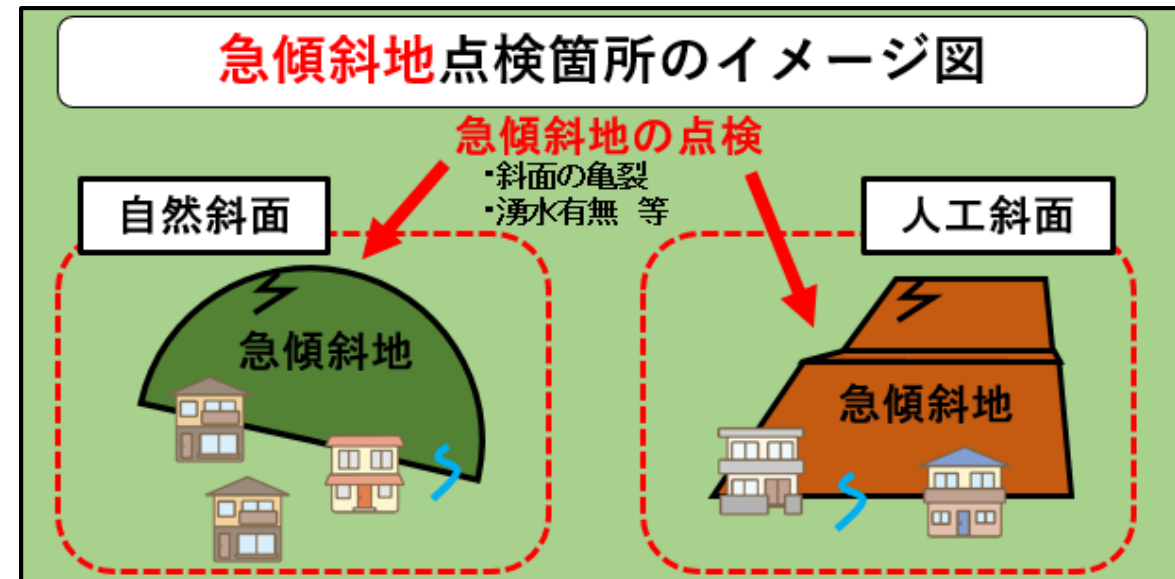
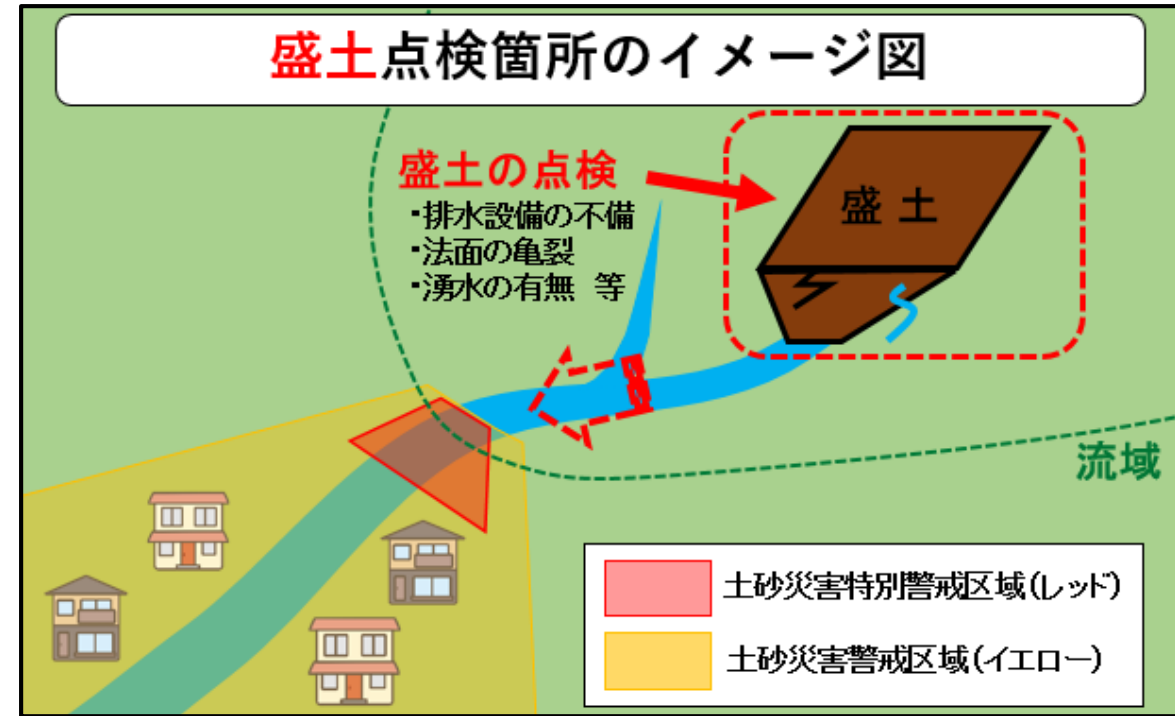
- ・102箇所：民家の裏山等

(主な点検項目)

- ・斜面の亀裂や段差、湧水等の有無

■ 点検時期

- ・7/30（金）に着手し、秋の初め頃までに完了



鳥取砂丘におけるドローンによる巡視の開始

1 導入経緯

- ・昨年8月に熱中症が疑われる死亡事故が発生
- ・再発防止のため、ドローンを導入し巡視体制を強化



【ドローン飛行による巡視範囲 ■】

2 巡視方法

(1) 実施日・時間

8月2日（月）から開始

熱中症警報発令日の11時及び15時

(2) 場所

鳥取砂丘西側エリア

(3) 巡視体制

砂丘レンジャーによる2名体制

(操縦1名、モニターチェック1名)



鳥取県のワーケーションをさらに加速！！

経団連等と連携

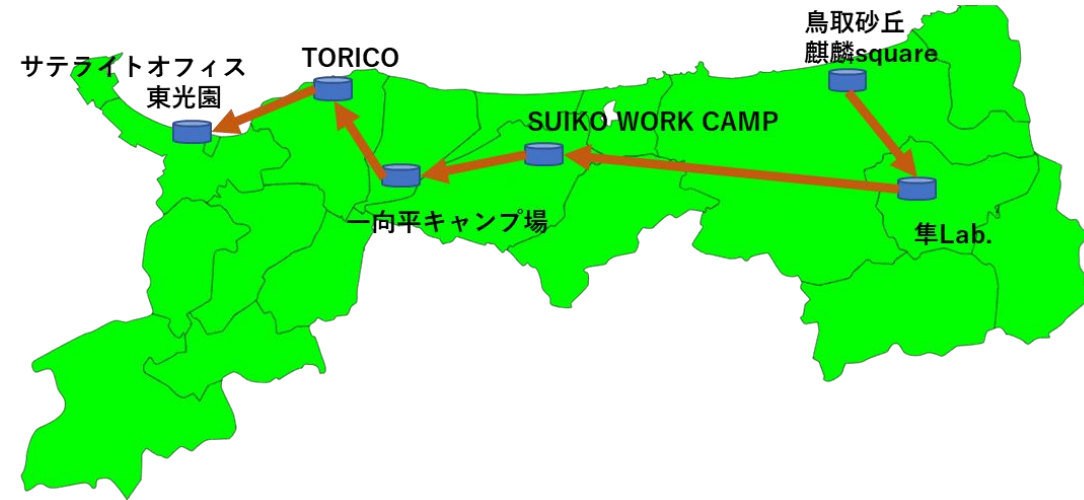
ワーケーション・コレクティブインパクトを鳥取県で開催

日時 10月19日(火)～22日(金)

テーマ “都市人材と地域の関わりを進化させる”

参加者 経団連会員企業、中央省庁、県内企業等 30名程度

amazonでベストセラー“進化思考”の
太刀川 英輔 氏のプログラムによるワークショップを開催
(JIDA理事長、関西万博日本館基本構想クリエイター)



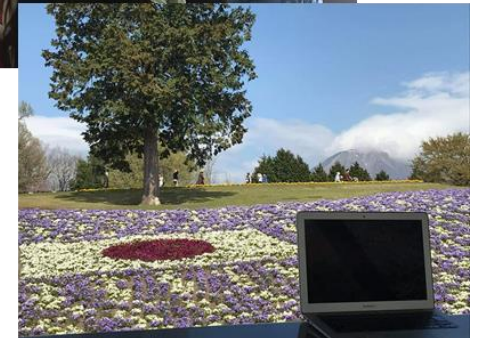
鳥取県ファミリーワーケーションプランナーの委嘱

いまむら あかね

委嘱する者 **今村 茜さん**

委嘱期間 8月1日～12月31日（5ヶ月間）

- 業務内容
- ・ ファミリーワーケーション普及に向けた方策の提案
 - ・ ファミリーワーケーションモニターツアーの企画開催



ハンセン病療養所入所者から寄贈いただいた壺について

1 経緯

- ・7月5日付けの県内紙に、ハンセン病療養所入所者が自ら制作され、知事に寄贈された壺について投稿

平成9年（1997年）に開催された「山陰・夢みなと博覧会」に招待し、里帰りを実施

- ・庁内を確めたところ、知事応接室の一角に保管してあることを確認

2 壺のお披露目行事について

期 日 令和3年8月4日

会 場 県庁本庁舎 1階県民室

出席者

- ・長島愛生園（岡山県ハンセン病療養施設）関係者（リモートでの参加を想定）
- ・荒井玲子さん（元 長島と鳥取を結ぶ会代表）
- ・知事

【 寄贈を受けた壺 】

